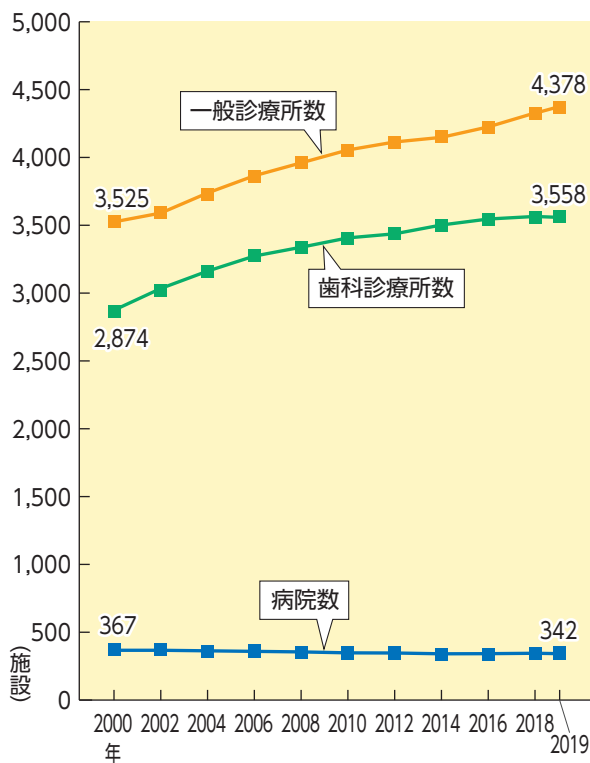


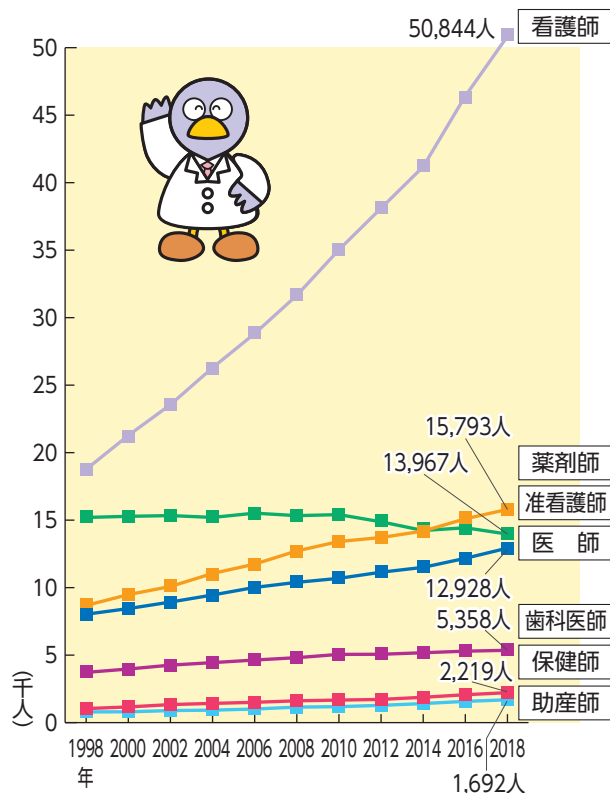
11 保健・福祉

① 医療施設数の推移 (各年10月1日現在)



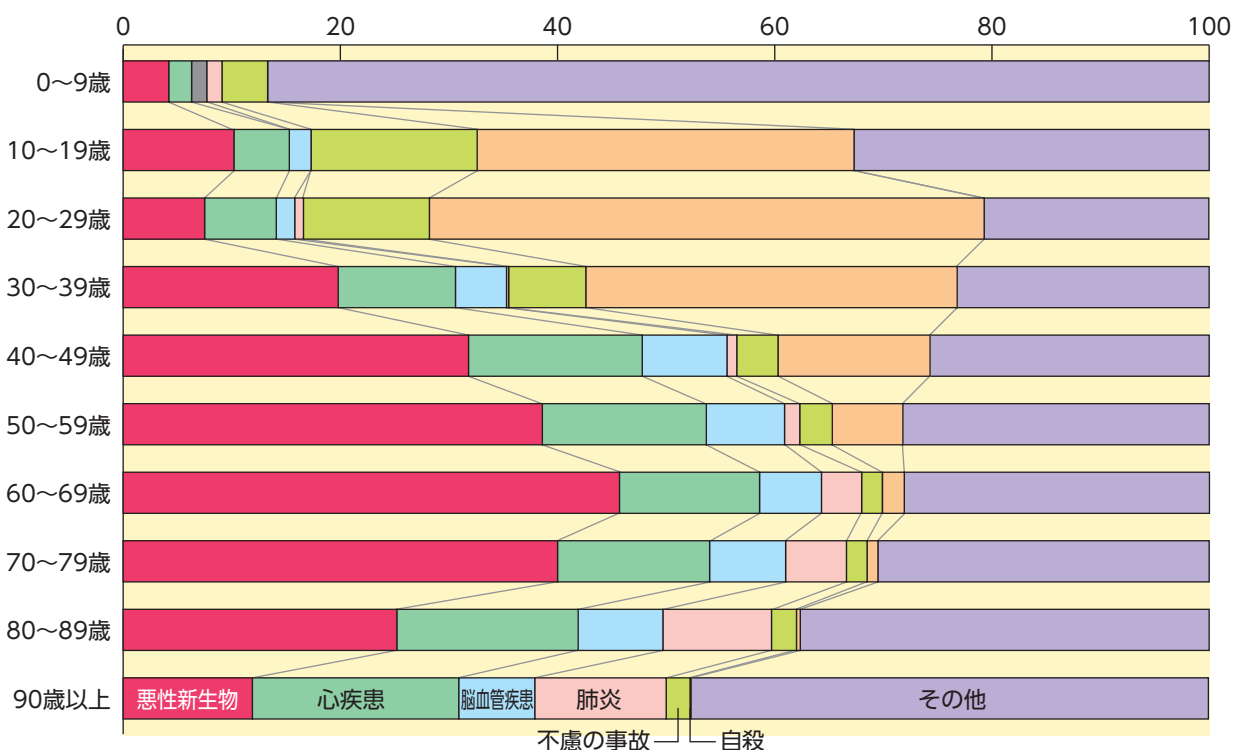
資料：厚生労働省HP「医療施設調査」

② 県内で働く医療従事者数の推移 (各年12月31日現在)



資料：厚生労働省HP「医師・歯科医師・薬剤師統計」、衛生行政報告例
県保健医療政策課「統計からみた埼玉県の医療」

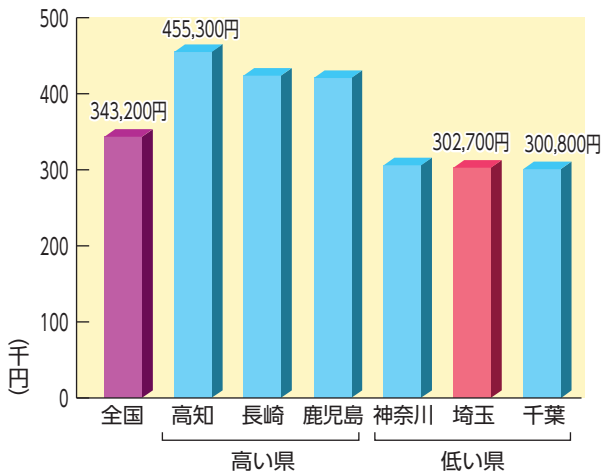
③ 年齢階級別の主な死因別の割合 (2019年)



↑ 年齢階級別に死因別割合をみると、10~30歳代では自殺、40~80歳代では悪性新生物、90歳以上では心疾患の割合が最も高くなっています。

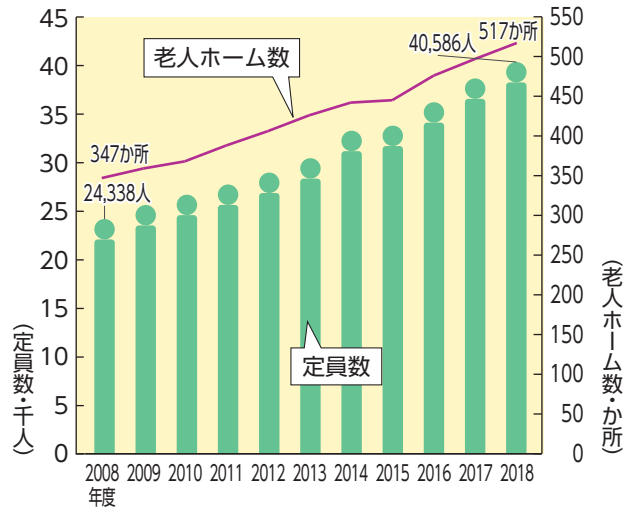
資料：厚生労働省HP「人口動態統計(確定数)」

④ 1人当たり国民医療費(2018年度)



注) 1 都道府県別国民医療費は、国民医療費を患者の住所地に基づいて推計したものである。
 2 人口1人当たり国民医療費を算出するために用いた人口は、総務省統計局による「平成30年10月1日現在推計人口(総人口)」である。
 資料：厚生労働省HP「国民医療費」

⑤ 老人ホームの数と定員数の推移(各年度末現在)

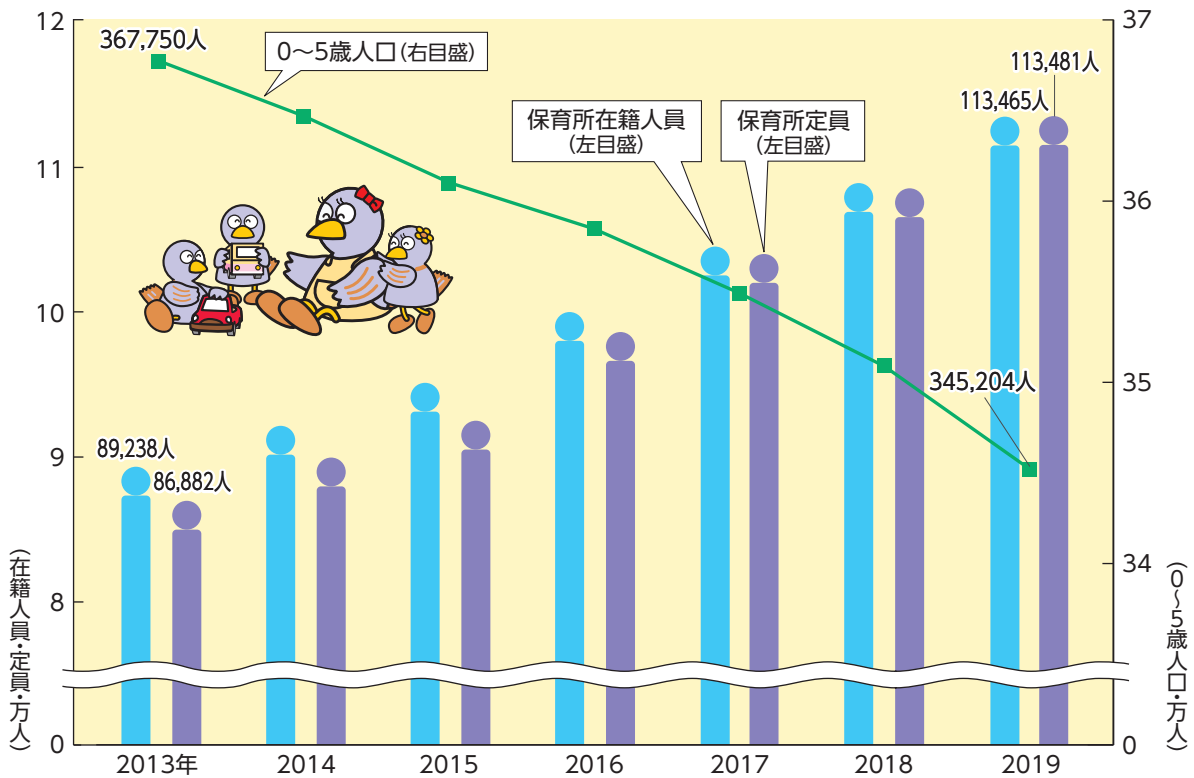


資料：厚生労働省HP「福祉行政報告例」

↑ 2018年度末現在の老人ホーム数は517か所、定員数は40,586人となりました。

10年前の2008年度末と比べると、老人ホーム数は約1.5倍、定員数は約1.7倍に増えています。

⑥ 保育所在籍状況の推移



↑ 0~5歳の人口は減少し続けていますが、保育所または幼保連携型認定こども園に在籍する乳幼児の数は、年々増加しており、2019年3月1日現在113,465人となっています。

注) 1 0~5歳人口は各年1月1日現在。
 2 保育所定員及び保育所在籍人員は各年3月1日現在。
 3 2015年までは保育所の集計。2016年以降は保育所と幼保連携型認定こども園の合計。
 資料：厚生労働省HP「福祉行政報告例」
 県統計課HP「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」